

## 2011年IEEE広島支部第2回理事会議事録（案）

日時: 2011年6月10日(金) 14:00-15:30

場所: 岡山大学 自然科学研究科棟 2F 小会議室

〒703-8201 岡山市北区津島中 3-1-1

参加者（議決権保有者数）：13名

堀田、舟阪、田岡、大久保、上土井、紀和、近藤、田村、福嶋、山本、平川  
（委任状：市村、山本透）

### 議題

#### 1. 第13回 HISS について

- a. 5月28日開催の学生向け講演会と実行委員会について [資料 1-1]
- b. 準備状況について（CFP、企画など） [資料 1-2]
- c. Section 支援費申請について [資料 1-3]

a と b について田岡庶務幹事が、c について堀田支部長が説明し、以下のことを確認または承認した。

- 対象分野は、電気・電子・通信・情報関連分野としており、この区分（大項目）で査読や審査を行なっている。しかし、より細分化した分野（小項目）で考えると複数の大項目に含まれることがある。たとえば、メタマテリアルは電気、電子、場合によっては情報にも入っている。すると偏りが生じ査読などに影響があるため、分野の整理が必要であるという指摘があった。科学研究費の申請分野などを参考にして、投稿時に選択する分野を早急に整理することを実行委員会に依頼する。
- 投稿締切が8月初旬だが、ポスターが7月中旬に完成するので、論文募集に対して効果が小さい。そこで、例えば、二年分作成して、次回には早くポスターを配布するなどの改善を検討することになった。（議論の中で、テーマを3年ごとに変えているが、特に決まっているルールではないことを確認した。）
- 実行委員経験者が非常に少なく、十分に引継ぎができない恐れがあるので、引継ぎを十分に行うように対処する必要性を確認した。
- Section 支援費申請は、JC 理事会開催に関係なく、できるだけ早く申請を行うことになった。
- 研究賞は、査読者のコメントを参考にして役員・理事によって決定することを確認した。その決定は、9月開催の理事会で行うのが良いことを確認した。
- プレゼンテーション賞は、開催中に参加者の投票で決定するが、参加者の偏りがあると有利になる可能性があるという問題があるという指摘があった。これについて実行委員会に検討を依頼することになった。

## 2. Committee 活動について

- IEEE に役員以外の役職（第 1 回理事会で決定した各種 Committee Chair）を報告した。
- 活動内容の報告（今後の活動予定を考えていただきます）。

堀田支部長が説明し、以下について確認した。

- Student Activity Committee Chair(山本透理事)は、IEEE 広島支部では学生会員の学会発表支援制度(2種類存在)を周知すること(ML などを通じて)を検討する。
- Fellow Committee Chair（堀田支部長）は、Fellow 推薦において広島支部に推薦依頼があれば対処する。
- Membership Development Committee Chair（福嶋理事）は、会員勧誘のための方法を検討する。特に学生会員の増加が必要という指摘があった。そのために、例えば HISS に関連させて（受賞者が会員ならば副賞が付くこと売りにするなど）会員の勧誘を試みると良いだろうという意見が出た。

## 3. 功績賞について

- IEEE 広島支部会員への功績賞の推薦依頼等について（理事会が功績賞選定委員会を兼ねている）。

本件について堀田支部長が説明し、以下について確認または承認された。

- 理事、理事 OB、「SENIOR MEMBER」以上の会員は1名で推薦することができるが、それ以外は広島支部の会員5名の推薦者が必要であることを確認した。
- 募集の期限が6月末なので、ML などを利用して会員からの推薦について周知する。
- 理事からも推薦するよう要請した。

## 4. HISS Support Club 設立について

過去実行委員長について調査依頼を各理事に御願ひする

堀田支部長が、過去の実行委員長の連絡先を入手することが難しいので各理事に所属する大学について調査するよう依頼した。

ただし、調査の際に HISS Support Club の趣旨等の説明文が必要という指摘があり、作成することとなった。

5. その他

a. 9月開催の IEEE 広島支部主催講演会について [資料 5-1]

田村理事が本件の説明を行い、承認された。ただし、講演者が支部内の会員なので支部から謝金を支払うことができないので（旅費は OK）、謝金は山口大学の助成金に応募して獲得することを確認した。  
この講演会および理事会が9月2日か9日が候補になっているので、理事・役員の都合を後日調査する。

b. IEEE 広島支部 2011 年活動状況報告 [資料 5-2]

田岡庶務幹事が説明し、修正すべき点について指摘があった。（添付の資料は修正後の資料である。）

c. IEEE 広島支部 2011 年会計状況報告

後日、メール審議をすることになった。

d. HP 改訂について [資料 5-3]

堀田支部長が、広島支部ページ「広島支部について」の修正点について説明し、理事会では承認された。しかし、このページの文章は初代支部長 市川先生が書かれたものなので、修正について意見を伺うことになった。

## 【資料 1-1】

### IEEE 広島支部主催学生向け講演会について

日時: 2011 年 5 月 28 日(土) 13:00-14:00 (12:30 より受付)  
場所: 広島大学 東広島キャンパス 中央図書館ライブラリホール  
参加者: 正会員 6 名、学生会員: 2 名、非会員: 41 名

総合演題:『学生シンポジウム開催にあたって』

題目: 「IEEE 広島支部学生シンポジウムの概要」

講演者: 堀田 昌志 氏(山口大学)

題目: 「IEEE 広島支部学生シンポジウムに望むこと」

講演者: 神成 直輝 氏(日本電気株式会社)

### 第 13 回 IEEE 広島支部学生シンポジウムの実行委員会について

日時: 2011 年 5 月 28 日(土) 14:10-17:45  
場所: 広島大学 東広島キャンパス 中央図書館ライブラリホール  
参加者: HISS 実行委員 42 名、IEEE 広島支部役員・理事 5 名

下記の役割を本委員会と後日の調整により決定した。また、各委員会の作業内容の確認等を行った。

HISS 実行委員長: 村上 祐一 広島大学大学院工学研究科  
HISS 副実行委員長: 野口 敬太 広島大学工学部第二類  
HISS 総務委員長: 渡邊 駿 山口大学大学院理工学研究科  
HISS 広報委員長: 小林 秀次 岡山県立大学大学院情報系工学研究科  
HISS 論文 TP 委員長: 長安 宏樹 岡山県立大学大学院情報系工学研究科  
HISS 企画講演委員長: 杉山 智大 広島市立大学 大学院 情報科学研究科  
HISS 財務委員長: 野口 威 広島大学大学院工学研究科  
HISS 総務委員: 17 名  
HISS 広報委員: 15 名  
HISS 論文 TP 委員: 12 名  
HISS 企画講演委員: 11 名  
HISS 財務委員: 1 名

合計: 63 名 (福岡支部より派遣して頂いた実行委員 2 名を含む)

### The 13<sup>th</sup> IEEE Hiroshima Student Symposium

～未来の萌芽～

November 12-13, 2011  
in Hiroshima

主催: IEEE 広島支部

#### Introduction to HISS

この度、IEEE 広島支部では第 13 回 IEEE 広島支部学生シンポジウム(HISS)を開催します。HISS とは学生が主体となって企画・運営を行う「学生の、学生による、社会のための」イベントです。この目的には次のものが挙げられます。

1. 従来学会の研究会発表をさらに開放的にすることで、より自由かつ活発な議論を喚起する。
2. 学生が独自の考えを人前で明確に表現する術を身につける。

今回の HISS では「未来の萌芽」をテーマとしており、大学や企業で行っている研究を、テクニカルプレゼンテーションを通じて発表し、議論していきたいと考えています。皆様には本シンポジウムへ奮ってご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

また、私達は本シンポジウムを学生や企業の方々だけでなく、高校生や電気・電子にあまり馴染みのない一般の方々にも知って頂きたいと考えています。会場は無料となっており、どなたでもご来場いただけます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

## テクニカルプレゼンテーション発表者募集

#### About the IEEE

IEEE(Institute of Electrical and Electronics Engineers)は電気電子技術に関する国際的な学術組織で、その活動は電気電子技術を中心に通信、コンピュータ部門から医学、生物学など多岐に亘り、人間社会と専門知識の発展、向上を図ることを目的としています。会員は世界 150 ヶ国に 36 万人以上を数え、世界中の 4 万人以上の学生が IEEE の成長と活力に貢献しています。

#### Symposium Location

開催日 : 11 月 12 日(土), 13 日(日)  
会場 : 広島大学 東広島キャンパス  
          学士会館・法学部経済学部棟  
所在地 : 広島県東広島市鏡山一丁目 3 番 2 号

#### Technical Presentation

本シンポジウムでは、学生の発表の場としてテクニカルプレゼンテーションを行います。テクニカルプレゼンテーションとは、一般参加者と発表者との意見交換ができる発表方法です。発表者はポスターを用いた発表(ポスターセッション)に加えて、様々な研究機器を用いたデモンストレーションも行うことができ、研究成果を存分にアピールできるようになっています。

発表対象者は電気・電子・通信・情報関連分野を主に研究する大学院生・大学生・高専生・短大生・専門学校生であり、IEEE 会員でない方も発表を行うことが出来るようになっています。



## Abstract

本シンポジウムにご参加される方々には、まず発表予定の論文概要(アブストラクト)を提出して頂きます。この論文概要は、HISS 査読委員の先生方に審査して頂くためのものです。研究の概要が十分に伝わるように、800 文字程度で、表や図も使用して作成してください。採択された方々には、後日、論文集に掲載する最終原稿(final camera-ready paper)および研究内容の要旨を提出して頂くとともに、これらをもとに会場にてテクニカルプレゼンテーションを行って頂きます。

### 査読用「論文概要」の形式

- ・ A4 サイズ 1 枚(上下左右に 20 mmの余白を取る)
- ・ 本文 800 文字程度
- ・ カラー不可
- ・ 表題 14~16pt、著者名等 10pt、本文 9~10pt
- ・ 表題、研究者名は日本語と英語を併用する
- ・ 論文概要には「該当分野」(a)電気(b)電子(c)通信(d)情報(e)基礎(f)その他と「細目」を明記する
- ・ 論文概要は PDF ファイルに変換する

\* 投稿料金 : 2,000 円

最終論文掲載料 : 1 ページにつき 500 円

\* 「細目」と論文投稿方法の詳細はホームページを確認してください。

## Important Dates in 2011

8 月 3 日(水) : 審査用「論文概要」提出締切

8 月 30 日(火) : 査読結果通知開始

9 月 30 日(金) : 最終論文提出締切

11 月 12 日(土), 13 日(日) :

IEEE 広島支部学生シンポジウム

## HISS Awards

IEEE 広島支部学生シンポジウムでは、自ら主体的に行動し、自分の考えおよび研究成果を人に明確に伝えることが出来る人材育成を目指し、以下のような表彰制度を設けています。

### 【IEEE 広島支部学生シンポジウム実行委員会】

[HISS プレゼンテーション賞]

HISS 最優秀プレゼンテーション賞 (1 名)

HISS 優秀プレゼンテーション賞 (若干名)

### 【IEEE 広島支部】

[HISS 研究賞]

HISS 最優秀研究賞 (1 名)

HISS 優秀研究賞 (若干名)

## Contact

### 第 13 回 IEEE 広島支部学生シンポジウム実行委員会

〒739-8527

広島県東広島市鏡山一丁目4番1号

広島大学工学部 電力・エネルギー工学研究室

(担当: 総務委員 間島 佑貴)

E-mail: [hiss13th@gmail.com](mailto:hiss13th@gmail.com)

## Homepage

URL : <http://hiss13th.sakura.ne.jp>

## Committee

### 第 13 回 IEEE 広島支部学生シンポジウム実行委員会

実行委員長

村上祐一(広島)

副実行委員長

野口敬太(広島)

渡邊駿(山口)

(渡邊駿は副実行委員長兼、総務委員長)

財務委員会

\*野口威(広島)

花田英人(広島)

総務委員会

\*渡邊駿(山口)

奥本政彦(広島)

久留島智博(広島)

小林良平(広島)

間島佑貴(広島)

一ノ瀬祐樹(鳥取)

川上優(鳥取)

山下晃平(鳥取)

山口竜二(島根)

小森達也(岡山)

三浦史也(岡山県立)

森星弥(岡山県立)

六車英峰(近畿)

中元康博(広島市立)

別所正昭(広島市立)

松金宏樹(広島市立)

廣川貴之(山口)

入江俊朗(福岡)

論文 TP 委員会

\*長安宏樹(岡山県立)

池本佳史(広島)

林利典(広島)

中田智士(鳥取)

花田純一(鳥取)

永塚学(島根)

澤井勇人(岡山)

直野英夫(岡山)

古賀健一(岡山県立)

小松弘和(近畿)

原田洋輔(広島市立)

久保田健介(山口)

馬場雄介(山口)

企画講演委員会

\*杉山智大(広島市立)

長尾勇氣(広島)

田中勇作(鳥取)

村上元太(鳥取)

山川純平(鳥取)

吉国厚(島根)

岩崎剛士(岡山県立)

祇園大輝(岡山県立)

高橋幸司(広島市立)

林和貴(広島市立)

三倉将太(広島市立)

山本友基(山口)

広報委員会

\*小林秀次(岡山県立)

秋吉朝久(広島)

坂口恭平(鳥取)

永田竜也(鳥取)

南野友香(鳥取)

河野研太(島根)

瀬島孝太(岡山)

鈴木悠太(岡山県立)

西岡孝明(近畿)

三浦陽祐(近畿)

岡田誠流(広島市立)

勝部潤(広島市立)

坪島知也(広島市立)

眞鍋準次(広島市立)

村上貴俊(山口)

藤田慎太郎(福岡)

(\*: 委員長)

【資料1-3】

Section 支援費申請書

申請日： 2011.06.14

申請者： 支部長 堀田 昌志 支部名： 広島支部

ご連絡先（住所） 山口県宇部市常盤台 2-16-1 山口大学大学院理工学研究科内

(Tel) 0836-85-9436 (Fax) 0836-85-9401(事務室)

(Email) [hotta@yamaguchi-u.ac.jp](mailto:hotta@yamaguchi-u.ac.jp)

(支部役員の申請で、事務局にご連絡先情報をお知らせ頂いている場合は、ご氏名および支部名のみで結構です。)

1. 支援を受けたい事業の名称： 第13回IEEE広島支部学生シンポジウム(HISS)

主催 <共催> (○印をつけてください。)

主な内容： IEEE 広島支部が主催し、中国地区の学生自らが企画・運営・実行する事を特色としたシンポジウムである。今年の実行委員に福岡支部の学生を加え、中国・九州地区の9大学から63名で実行委員会を結成し、大学や地域の枠を超えた活動を行う。学生達が企画した学術発表や基調講演および高校生向け体験講座などを行う予定である。総予算規模150万円程度で参加者数は延べ400名程度を見込んでいる。

2. 開催時期： 2011年11月12日, 13日 (予定)

開催場所： 広島大学東広島キャンパス

3. 申請金額： 400,000 円

内訳：	論文集 CD 作成費 (300 部程度)	90,000 円
	会場整備費 (会場案内板, パネル搬送・工事費など)	100,000 円
	企画運営費 (高校生体験講座開催消耗品など)	110,000 円
	優秀プレゼンテーション賞の副賞費の一部	100,000 円
		計 400,000 円

4. 銀行口座： 銀行名 \_\_\_\_\_ 支店

預金種別 < 普 当 > 口座番号 \_\_\_\_\_

口座名 \_\_\_\_\_

フリガナ \_\_\_\_\_

===== 手続の手順 =====

- 1) Japan Council Secretary および Treasurer による承認後、振り込む。
- 2) 事業終了後、支払報告書および領収書等があるものはそのコピーを事務局に提出する。

<提出先> IEEE Japan Council 事務局

〒105-0003 東京都港区西新橋 3-6-2 西新橋企画ビル 8 階

TEL: 03-5776-7670 FAX: 03-5401-3850 E-mail: [jc@ieee-jp.org](mailto:jc@ieee-jp.org)

【資料 5-1】

9月開催のIEEE広島支部主催講演会

講師：広島市立大学 角田 良明 氏

題目：アシュアランスネットワーク設計原理の確立に向けて

場所：山口大学工学部 （山口県宇部市）

概要：独立行政法人情報通信研究機構・新世代ネットワーク研究開発戦略本部は、2009年3月に新世代ネットワーク技術戦略中間報告書を刊行している。その中で6つの技術戦略テーマを掲げており、その一つがネットワーク自体の安定性（スタビリティ）および信頼性（トラスタビリティ）を維持するトラスタブルネットワークである。アシュアランスネットワーク技術は新世代ネットワークの技術戦略テーマの一つであるトラスタブルネットワークを実現するものであり、新世代ネットワークの研究開発には極めて重要である。アシュアランスネットワークは、ネットワークが大規模化しても、ユーザの要求やネットワーク環境が変動しても、セキュリティに対する攻撃が存在しても、故障を引き起こすフォールトが存在しても、期待されるサービスをタイムリーに実行するネットワークである。本講演では、独立行政法人情報通信研究機構高度通信・放送研究開発委託研究／新世代ネットワーク技術戦略の実現に向けた萌芽的研究（アシュアランスネットワーク技術の基本概念と実証）に関する主な研究成果を紹介し将来展望を述べる。



## 【資料 5-2】

### IEEE 広島支部 2011 年活動状況報告 (July 29,2011)

#### (1) 総会

2011 年 1 月 24 日(月) (於 ガーデンパレス広島)

[開催報告済]

#### (2) 2011 年事業計画

##### 2-1) 講演会・会議

###### a) 主催

###### I) 特別講演会(総会終了後)

[開催報告済]

講演者: 村上 輝好 氏 (株東京大学エッジキャピタル)

題目: 「ベンチャーキャピタルによるイノベーション支援」

###### II) 学生向け講演会 (5/28) 於: 広島大学

[開催済]

総合演題: 『学生シンポジウム開催にあたって』

題目: 「IEEE 広島支部学生シンポジウムの概要」

講演者: 堀田 昌志 氏(山口大学)

題目: 「IEEE 広島支部学生シンポジウムに望むこと」

講演者: 神成 直輝 氏(日本電気株式会社)

###### III) 主催講演会 (6/10) 於: 岡山大学

[開催済]

題目: 「テラヘルツ領域のプラズモニック結晶・メタマテリアル」

講演者: 宮丸 文章 氏 (信州大学)

###### IV) 主催講演会 (9 月) 於: 山口大学

[開催予定]

題目: 「アシュアランスネットワーク設計原理の確立に向けて」

講演者: 角田 良明 氏 (広島市立大学)

###### b) 共催・後援・協賛

###### I) 共催講演会・IEICE コンカレント工学研究会 (1/20) 於: 海峡メッセ下関

題目: 「エレベータ運行計画問題への最適性/実用性を指す

二つのアプローチ」

講演者: 稲元 勉氏 (神戸大学)

[開催報告済]

###### II) 国際会議 International Conference on Information Science and Applications

(ICISA2011) 協賛 (2011.4.26-29)

[開催済]

###### III) 国際会議 International Workshop on Assurance in Distributed Systems and

Networks (ADSN2011) 協賛 (2011.6.29-30)

[開催済]

###### IV) 電子情報通信学会中国支部学生会イベント「学生ケータイあわーど 2011」 後援

##### 2-2) 第 13 回 IEEE 広島学生シンポジウム(HISS)

[2011.11.12,13 開催予定]

於: 広島大学

(3) 理事会

- ・ 第 1 回 (4 月 1 日) 活動計画、Committee 活動について 他 [開催済]
- ・ 第 2 回 (6 月 10 日) 学生シンポジウムの準備、学生支援状況について 他 [開催済]
- ・ 第 3 回 (9 月) 学生シンポジウムの準備、広島支部功績賞について他 [開催予定]
- ・ 第 4 回 (11 月) 次年度事業計画策定 他 [開催予定]

(4) その他

- a) IEEE 広島支部功績賞選定
- b) 関連学会開催に関する協賛・後援活動
- c) IEEE 広島支部学生シンポジウムの他支部との連携
- d) HISS Support Club 設立

## HP 改訂について

(注意) 修正箇所を点線で囲んでいる。

### 修正点その 1

[トップページ→「広島支部について」のページ]

(経緯の追加、見出しの変更など)

## 設立経緯・理念

### IEEE 広島支部設立経緯

1998 年 2 月、IEEE 東京支部の方針に沿って東京支部を幾つかの支部に分割するための第 1 回新支部設立検討委員会が開催されました。そして、各地区での新支部設立の準備・検討および IEEE 本部との審議の結果、1998 年 11 月 14 日[米国東部時間]に日本国内に新支部（札幌支部、仙台支部、東京支部、名古屋支部、関西支部、広島支部、四国支部、福岡支部）を設立する方向性が IEEE 本部において承認され、同日をもって上記設立検討委員会委員の難元孝夫委員を暫定支部長とした広島支部が設立されました。次いで、1999 年 4 月 30 日の広島支部総会における役員候補の承認を経て支部は実質的な活動を始めました。

なお、1999 年初頭の新支部設立検討委員会/IEEE Japan Council 設立委員会および IEEE 東京支部総会での審議・承認を経て、日本国内の IEEE 組織は Japan Council のもとで上記 8 支部により運営されることになりました。その後、2006 年 6 月に信越支部が東京支部から分離・設立され、現在は 9 支部体制となっています。

IEEE 広島支部の定款 (Bylaws) は 1999 年 6 月 24 日[米国東部時間]に IEEE 本部で承認されています。

1998 年 11 月 14 日 (EST) : 支部設立の本部承認

1999 年 6 月 24 日 (EST) : 定款 (Bylaws) 本部承認

### 支部設立にあたって

#### ■ 設立理念

広島支部の発足にあたって、支部を運営していく上での基本的な理念と方策として次のようなことを考えました。

1998年夏のことです。まず、学会の役員というものは、価値のある新しいサービスを会員に提供しようとするボランティアなのですから、これを名誉職だと思い込んでいる人たちが選ばれることがないような仕組みが必要です。

次に、多くの方々にフェローになっていただいて地域の学術基盤が高まるように、会員各人が主体的に手続きを進められることをお勧めします。ローカルな組織が候補の選定に関与することは好ましくありません。

そして最後には、「自分達のシンポジウム」を自分達で自主的に企画運営することを、次の世代を担う学生諸子に体験していただくことです。ボランティアの方々のご努力により、これらのことについて、さらにはその枠を超えて、これから多くの成果が目に見えるようになるだろうと思います。



市川忠男(初代支部長  
(1999～2000年度))

## ■ 地方という名の国際性

「世界のどこが中央なのか」と聞かれたら困ってしまいます。学問や芸術、あるいは政治など、少なくとも分野によって違って来でしょう。ところが、「日本の中央はどこか」ということでしたら答えは明白です。そこでは、ほとんどすべての分野が統括されています。だからそこが中央です。中央があれば、それ以外の地域はおしなべて地方と呼ばれることとなります。

私は、25年前に東京から広島に移ったとき、「東京に目を向けても箱根の山にさえぎられてその先が見えないから、海の方を見ましょう。ロサンゼルスが見えてきますよ」と、同僚や学生さん達に言っていました。正直いって、そこに見えたのは宮島だったのですが、いずれにしても、その結果、論文などはロサンゼルスなどと共通の地方語で書かれることが多くなりました。ヨーロッパの人たちも同じ地方語を使っているようです。このような地方語は国際語と呼ばれています。

その地方都市広島にIEEEの支部が生まれました。1999年のことです。「いや、東京支部が行政区分に対応した8つの地域に発展的に分割されたのだ」と言われることでは、そのような概念は地方語の世界に馴染みません。とりあえずは中国地区のその他の都市のかたがたも広島支部のメンバーとしてお付き合いいただいているのですが、やがては岡山支部、山口支部、鳥取支部、島根支部などが新たに生まれる

ことでしょう。

このような見方で広島支部を構想してみました。これからは、中国地区の外(国外も含めて)におられる方々も会員となっただけのような、「**地方という名の国際性**」を生かした魅力的な活動が展開されることを願っています。

市川忠男(初代支部長(1999~2000 年度))

## 修正点その2

[トップページ→「広島支部について」のページ→「定款 (Bylaws)」のページ]  
(承認日を追加)

## 定款 (Bylaws)

1999. 6. 24 (EST) IEEE 本部承認

## ■ 広島支部細則 ■

これらの文書と支部細則との間に矛盾があるときは、あらゆる場合において IEEE 細則・組織・政策・手続きの方が優先する。

### 第1条 名称と受け持ち区域

1. この組織は IEEE の広島支部と称する。
2. 地域活動委員会によって承認されたように、広島支部の受け持ち区域には鳥取県,島根県,岡山県,広島県,山口県が含まれる。これは郵便番号の上2桁 68 から 75 までの区域に相当する。

【以下省略】